

平成25年度 横浜こどもスポーツ基金  
事業報告書

平成 25 年 12 月 2 日

団体名	横浜マラソン大会実行委員会		
事業名	第33回横浜マラソン大会「横浜F・マリノス futuro」交流事業		
実施日時	平成25年12月1日（日） 9時30分～11時		
実施場所	山下公園参加賞配布及び2km・あと2.5km給水所の協力		
横浜F・マリノスfuturoとは	Jリーグ加盟チームによる「日本初の知的に障害のある人たちのサッカーチーム」です。横浜市内を中心に神奈川県・東京都内から参加選手約60名が所属しており、サッカーを楽しめる環境の整備、技術獲得と障害の有無を越えた活動を目指し、10年目のシーズン（平成16年度～）を迎えます。横浜F・マリノスのコーチや横浜市体育協会の職員を中心に、専門スタッフが技術指導に当たり、障害のある子どもたちのスポーツに精通したスタッフが障害特性に配慮し活動しています。		
第33回横浜マラソン大会大会データ	エントリー数：6,603人 参加者数：5,939人 完走者数：5,926人 完走率：99.8%	天候：晴れ 気温：14.0℃ 湿度：56% 医療加療：36名（内病院への収容者1名）	
futuro参加人数	合計 40 人	参加者 37 人	スタッフ 3 人
事業目的	横浜マラソン大会を通じて、障害のある子どもたちが市民スポーツ大会に参画することによって、スポーツを「する」「みる」だけでなく、「支える」という感動を味わうことができます。健常者と共に市民スポーツ大会を運営することで、障害のある子どもたちが夢や希望を持って育ち、身近な地域でスポーツ活動に参加できる環境づくりの一助になることを目的とします。		
活動内容	横浜マラソン大会の給水所において、障害のある子どもたちがランナーへのサポートを実施します。また、メイン会場でもある山下公園内で参加賞を配布し市民との交流を図りました。		

## 【活動風景】

